



地元企業への 就職考えよう

高校生対象にフェア

来春の就職を目指す。

高校生に、地元企業 玉野公共職業安定所の魅力を発信する「マ」と玉野地区雇用開発協会の「マ」と玉野地区雇用開発協会の「マ」が主催し、企業が「マ」が23日、築港の産業振興ビルで開かれた。市内でも人手不足が深刻化する中、参加企業は懸命に自社の魅力をアピールしている。地元企業の担当者の話に耳を傾ける高校生たち

た。

胸上に本社工場があるナイカイ塩業のグループ会社「ナイカイ企業」は産業フェアに初めて参加。食塩などを入れる袋を製造する業務内容や福利厚生について紹介した。山本訓正部長代理は「優秀な人材を確保するため、若い世代に会社の知名度をもっと高める必要性を感じた」と参加理由を説明した。

玉野高3年直原由倭さん(17)は「各企業からじかに話を聞き、仕事内容がよく分かって良かった」と話した。バスでの事業所見学、各社の資料・写真の展示もあった。

玉野地区雇用開発協会の宮原一也会長(宮原製作所社長)は「人手不足でどの社も採用活動に必死。生徒は興味を持った企業があるなら実際に訪問して自分の目で確かめてほしい。就職後のミスマツチを防ぐことにつながる」と呼び掛けている。

市内の来春採用予定の高校生求人数(15日現在)は、対前年同期比98人増の328人。

(民直弘)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。